



E-mail:honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311

会のあゆみ・活動の内容・遊び方など紹介

札幌お手玉同好会のホームページは多彩な内容



札幌お手玉同好会のホームページタイトル

(URL: <http://s-otedama.halfmoon.jp/>)

日本のお手玉の会の札幌お手玉同好会が、このほどホームページを立ち上げ、会のあゆみや活動の内容、お手玉遊びの紹介や効用などを詳しく紹介して、人気を呼んでいます。



ホームページは、若手会員の吉澤智之さんが、西村寛幸会長や今井幸子代表はじめ会員のみなさんに聞き取り調査をして制作したものです。吉澤さん自身、お手玉段位5段の腕前で、



会合風景

昔から信州おしなごの会の篠田啓子会長を尊敬し、お手玉については豊富な情報を持っているだけに、内容の濃いものになっています。

札幌お手玉同好会は、平成13年に札幌市で第1回お手玉講習会を開催し、15年に第2回お手玉講習会を開いたのを機に発足しました。そして、17年に、会長に佐野栄市さん(当時札幌市三世代交流協会会長)、名誉会長に永沼節郎さん(当時神恵内(かもえない)村日本郷土玩具館(通称:童心館)館長)が就任して、日本のお手玉の会の札幌支部「札幌お手玉同好会」として、正式にスタートしました。

これまでに、9回のお手玉講習会を開き、白石区で行われる毎月の定例研修会は通算222回を超えています。市内の小学校、児童館、幼稚園、高齢者施設、区民センターなどで、年間約80回のお手玉によるボランティア活動を行っています。

24年には、念願の北海道としては初めての第1回札幌お手玉遊び大会を開催し、たくさんの方々の参加を得て盛大に開催しました。

また、札幌支部会員によるお手玉作りは、3万個を超え、市内の各施設に寄贈したり、東日本大震災の被災地には777個のお手玉を贈っています。このことについては、「たまちゃん通信」No.47に詳しく紹介しています。

「まだまだホームページで伝え切れない皆さんの多彩な活動、お手玉の多面的な魅力や心身の健康など、社会的・時代的ニーズが数多くあります。今後、会員のみなさんからもっともっと、お手玉の素晴らしさ、失われつつある三世代交流や、まちづくりのヒントを教わりたいです」と、吉澤さんは話しています。

札幌お手玉同好会の発足にご尽力いただいた、佐野栄市さん、永沼節郎さんは、ともに故人となりましたが、その意思を引き継いで、いまは、西村寛幸会長、今井幸子代表のもと、多くの会員が力を合わせて、お手玉遊びによる「心豊かなまちづくり」に取り組んでいます。



審判の練習

その様子を、「これからも『札幌お手玉同好会』のホームページで紹介していきます」と、吉澤智之さんは意欲を燃やしています。